

# えばら連携だより

荏原病院



2015 Nov.

NO.  
58

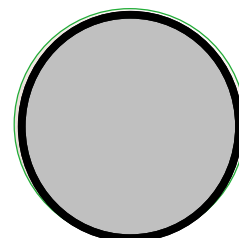
## 冬季の感染症



感染症は気温の高いかつ湿気の多い時期に流行すると考えられがちですが、冬季に流行する感染症があります。まず、インフルエンザです。通常 11 月下旬頃から流行が始まり、4 月上旬頃まで流行します。最初に A 型インフルエンザ、次いで B 型インフルエンザが流行する傾向があります。熱、咳、関節痛、筋肉痛、倦怠感など全身の症状がみられます。迅速診断キットで診断がつくようになり、有効な抗ウイルス薬も存在します。しかし、高齢者や何らかの基礎疾患（糖尿病、COPD など）がある人は、肺炎を併発しやすく重症化します。

次に冬季の感染症として重要なものに、ウイルス性胃腸炎があります。いくつかのウイルスが原因となりますが、ノロウイルスとロタウイルスがその代表です。成人ではノロウイルス、小児では両者が原因となる傾向があります。やはり、11 月下旬頃から流行が始まり、4 月上旬頃まで流行します。しかし、最近では冬季に限らず、年間を通じてみられるようになりつつあります。ウイルス性胃腸炎は多くが自然治癒しますが、やはり脱水となり急性腎不全状態へ移行することもあります。

インフルエンザやウイルス性胃腸炎で、入院が必要と判断した場合、入院が必要か否か判断できかねる場合、診断に迷った場合など、どのようなことでも構いませんので、対象患者が成人であれば感染症内科へ、小児であれば小児科へご相談いただければ幸いです。

おおにし けんじ  
副院長 大西 健児

当院に患者さんを是非ご紹介ください。ご紹介いただくときは、患者さんに【診療情報提供書(紹介状)】をお持ちいただけるよう、よろしくお願いします。

※2 回目以降のご受診でも必要時には紹介状をお持ちいただけるよう、よろしくお願いします。



○予約専用……………03-5734-5489 ▶月～金 / 9:00～19:00 (翌日分の予約は17時まで)  
土 / 9:00～12:00 (翌週月曜日の予約は12時まで)

※お急ぎの場合は連携室にご連絡下さい

○救急診療……………03-5734-8000 ▶「救急室(又は〇〇科 救急当番医)へ」

○脳卒中専用……………03-5734-7100 ▶24 時間対応 (連携医・救急隊専用)

○放射線受付……………03-5734-7062 ▶月～金 / 9:00～17:00 土 / 9:00～12:00

○地域医療連携室 ー医療連携に関することは何でもお気軽にご相談ください。ー

ダイヤルイン……………03-5734-7027 ▶月～金 / 9:00～17:30 土 / 9:00～12:30

F A X……………03-5734-7018

○認知症疾患医療センター

ダイヤルイン……………03-5734-7028 ▶月～金 / 9:00～17:00

## 脳卒中センターのご案内

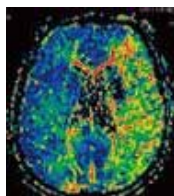
### 総合脳卒中センター紹介

当院では脳卒中に対応すべく、神経内科医9名・脳外科医6名・放射線科・リハビリテーション科が協力し、MRI/CTなどの画像検査を24時間体制で行い、脳梗塞は神経内科、脳出血は脳外科と分担して診療します。入院では総合脳卒中センター内の Stroke Care Unit (SCU) 6床を運営するために専任看護師が2名で対応し、急性期からリハビリテーションが始まります。この組織が診療科の垣根を越えて動き、緊急対応ができることが当院の強み

脳梗塞超急性期のMRI拡散強調画像の虚血領域と造影灌流領域のmismatchはtPA治療により、症状を軽減できる可能性を示しており、良い治療適応になります



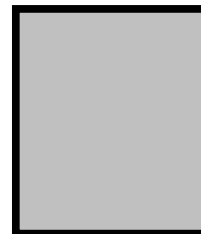
MRI拡散強調画像の虚血領域



広範囲な造影灌流異常領域

です。さらにtPA治療（血栓溶解治療）は発症後4.5時間以内に治療開始する必要があります。突然の麻痺や構音障害などがありましたら、救急車を呼んで来院をしてください。また一過性脳虚血発作（TIA）も発症

数日以内は脳卒中発作をきたしやすいので数日間程度は入院治療が必要です。脳卒中の可能性がありましたら、すぐに病院受診することが重要です。患者様に対する連携医の先生方のご指示・ご指導をよろしくお願いたします。

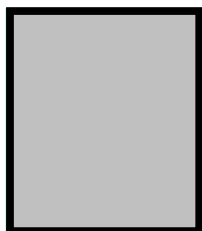


神経内科部長

たくぼ ひでき

田久保 秀樹

### 総合脳卒中センターにおける脳神経外科の立場



脳神経外科部長

と い ひろし

土居 浩

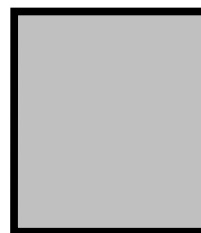
現在荏原病院は東京都脳卒中医療連携協議会の区南部地域の事務局になっており、東京都脳卒中急性期医療機関に認定されています。これは脳卒中の迅速かつ適切な急性期治療およびtPA治療実施に必要な体制が整備されているということです。脳内血管の塞栓除去のデバイスの発展で脳血管内手術の体制の整備についても東京都脳卒中協議会が検討中です。当院はすでにその体制も整い4時間半を超えた場合や、tPAの効果が不十分な場合に行う準備が整った状態です。脳梗塞に対してメインは神経内科の対応ですが、急性期を乗り切った場合の頸動脈ステント術や頸動脈内膜剥離術も十分な体制が整っています。脳出血やくも膜下出血の対応は主に脳神経外科対応ですが、くも膜下出血の場合もクリッピングではなく最近ではコイル塞栓術（脳血管内手術による）も多く行われており、全国標準の治療がなされています。このように神経内科、放射線科、当科による急性期医療チームが総合脳卒中センターのもとで運用され、また早期からのリハビリもリハビリテーション科運営により発症当日からプログラムが組まれており、自慢のチームになっています。今後も脳卒中医療の基幹病院の一員として、発展途上の段階ではありますが地域に貢献していきたいと考えています。

## 整形外科のご案内

### 整形外科新任のご挨拶

10月1日より整形外科に赴任しました藤田将勝と申します。赴任以前は中目黒にある東京共済病院に5年間在職しておりました。平成11年に昭和大学を卒業し、現在も昭和大学整形外科医局に属しております。興味をもっている分野としては、高齢者特有の外傷である大腿骨頸部骨折や橈骨遠位端骨折、また変性疾患としては下肢の人工関節等です。これから地域の先生方と協力協調し、地域社会における医療の向上に少しでも貢献したいと思っておりますので、お困りの症例等がありましたら是非紹介していただければ幸いです。また当院加療後、状態の落ち着いた患者さんについては地域の先生方に再度紹介させていただきたいと思っております。

何卒よろしくお願い致します。



整形外科

ふじた まさかつ

藤田 将勝

## 睡眠時無呼吸外来のご案内

### いびき・無呼吸外来について【第2回】～睡眠検査とCPAP治療～

当院で実施している睡眠検査

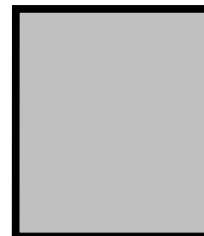
検査名	保険点数	検査の内容、各種センサ
簡易型睡眠検査	720点 自宅での検査 1～2晩実施	鼻・口呼吸センサ：呼吸停止の有無 酸素飽和度：呼吸停止による低酸素状態把握 体位センサ：体位依存性の確認
精密型 睡眠ポリグラフィ検査 (PSG)	3300点 1泊の入院	上記に加え 脳波：睡眠ステージの判定、睡眠の質を検査 眼球運動：REM睡眠の確認 筋電図：REM睡眠の確認とむずむず脚症候群 胸腹呼吸センサ：閉塞性か中枢性の無呼吸かの鑑別
反復睡眠潜時検査 (MSLT)	5000点 1泊の入院	PSG施行翌朝から5回の昼寝を施行 眠り易さを検査

睡眠検査はAmerican Academy of Sleep Medicine (AASM) が作成したマニュアルに則り世界共通の検査となっています。当院でも睡眠学会認定睡眠検査士が3名、うち1名は米国の認定を受けております。地域中核病院の生理検査室ですが、睡眠ラボに匹敵する知識と技術を備えております。

最近では、生活リズムの乱れによる不眠や日中の過眠、また夜間の中途覚醒など、睡眠の質に問題を抱える患者さんが増えています。これらの睡眠の質を検査するためには、技師による睡眠ステージ判定が欠かせません。また、職業ドライバーなど眠気が問題となる方に対してMSLTで眠り易さも検査しております。単なる過眠ではなくナルコレプシーという病気が潜んでいることもありますので、それらにも対応できます荏原病院にご相談ください。

睡眠時無呼吸症候群と診断されたら……

CPAP治療かマウスピース作成(次号にてご紹介)かを重症度などに応じて判断いたします。当院にて検査と診断を、普段の通院を連携医の先生方にしていただく方法も可能です。生理検査室では、睡眠の専門技師が機器のメンテナンスや睡眠の相談にも乗っておりますので、フォロー体制も充実しております。連携の先生方からのご相談も歓迎いたします。



検査科技師長

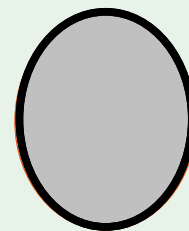
こばやし まみ  
**小林 真実**

日本睡眠学会認定技師  
米国睡眠技師

## 歯科通信

### 虫歯予防あれこれ

はせがわしろう  
歯科口腔外科 医長 **長谷川 士朗**



8020達成者が増加している今日においても、虫歯はいまだに多く見られる口腔内の慢性疾患です。そして医学が発展した現代においても、虫歯を防ぐ方法は昔と変わり映えないもので、すなわち毎日の歯ブラシと甘味料の摂取制限です。先日、ある患者さんからコメントを頂きました。「先生、歯磨きって食べ終わってすぐにしない方がいいんですってね」これは今までの常識を覆すものですが、数年前に外国から発信されマスコミでも取り上げられたようです。食直後は、歯の表面が酸性に傾いており、歯質が弱くなっているため歯ブラシを控えた方が望ましく、唾液の中和作用によりpHが回復してから(約30分後)磨いた方が効果的との考え方です。確かに実験ではそのような結果ですが、現実的にはきちっと食後にインターバルを置いてから歯を磨ける状況にあることは少ないと思いますので、そこまで気にする必要はなく、歯磨き習慣の方が大切ですよ、とお伝えしました。「歯磨剤は何がいいですか?」と聞かれることも多いですが、これに関しては唯一虫歯予防に効果があるとされているフッ素配合のものをお奨めすることになります。(フッ素が含まれていないものは現在ほとん

どないと思いますが)ところで皆さまご存じのキシリトールはどうでしょうか?砂糖の代替甘味料であり、細菌の増殖を抑えることにより虫歯予防に有効であるとされています。しかし、残念ながら今年発表されたレビュー論文では、虫歯の発生を減少させるという信頼できる報告は見つからなかったと結論付けています。但し、ガムに含まれているものでは唾液の産生を増加させることが予防に大きく貢献していると思われる。

なかなか虫歯予防に王道は無いようですが、歯ブラシの方法や用具の検討をする前に、まず大事なことがあります。それは、御本人の健康観のようなものですが、口の中の健康を守りたいという意欲です。これが足りないとい何をお伝えしても結果は出ません。そして、その人の心に歯の重要性を訴えかけ、気持ちを動かすことは治療よりも実は難しいのです。

\*11/25(水)に恒例の城南7 歯科医師会合同講演会・懇親会を開催いたします。是非皆さまご参加ください。

## CPC (Clinico-Pathological Conference) 開催のご案内

【開催日時】平成27年11月18日(水) 19時～ 【開催場所】荏原病院2階第1・2会議室

【内 容】「気道出血を認めた間質性肺炎の1例」

【発表者】荏原病院 内科医長 奥田 健太郎

※今回の開催予定日は、平成27年12月16日(水)です。詳細は、決定次第医師会経由でご案内します。

※都合により、予定が変更となる場合がございます。ご了承下さい。

## 世界糖尿病デーイベントのご案内

11月14日の世界糖尿病デーに合わせたイベントを開催します。地域の皆様に糖尿病について知っていただくよい機会です。糖尿病の患者さん、ご家族の方、糖尿病に興味がある方、どなたでも参加いただけます。事前申し込み不要ですので、どうぞお気軽にお越しください。

【開催日時】平成27年11月13日(金) 9:00～11:30 【開催場所】荏原病院 正面玄関入口～ロビー付近

【内 容】血糖測定、フットケア体験、看護相談、運動相談、くすり相談、栄養相談など

※11月の糖尿病講習会はありません。

## 薬剤科勉強会のご案内

当院薬剤科では、地域薬剤師会と連携して合同勉強会を開催し、保険薬局勤務の皆様と共に学んでいます。次回開催は次のとおりです。関心のある方は職種に関わらずお気軽にご参加ください。お待ちしております。

【開催日時】平成27年11月12日(木) 19時～21時 【開催場所】荏原病院2階第1・2会議室

【内 容】「超高齢者会の糖尿病治療」

【講 師】院長 久保田 憲

【問い合わせ先】大田区東調布薬剤師会会営ゆきがや薬局 TEL 03-3728-3231 FAX 03-3728-3232

## 看護部公開講座のご案内

当院看護部では、看護職員の皆様を対象に下記の通り公開講座を開催いたします。

多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日 時	研 修 名	講 師	場 所
平成27年11月6日(金) 13:30～15:30	有事の際の看護記録 重症度、医療・看護必要度の記録	認定看護管理者 看護部長 太田日出	荏原病院 第3会議室
平成27年11月17日(火) 17:30～18:30	災害看護	墨東病院 救急看護認定看護師 宮崎 麻由美	荏原病院2階 第1・2会議室
平成27年11月27日(金) 13:30～17:00	1) 褥瘡のアセスメントとケア 2) 体位変換・動作介助	皮膚排泄ケア認定看護師 上田恭三子 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 赤根 愛子	荏原看護専門学校 模擬病棟
平成27年12月10日(木) 17:30～18:30	在宅看護	田園調布医師会立訪問看護ステーション 所長 訪問看護認定看護師 田中 千賀子	荏原病院2階 第1・2会議室

※お申し込みは TEL03-5734-8000 内線(3003)まで

## 7 歯科医師会 合同講演会・懇親会 のご案内

「7 歯科医師会合同講演会・懇親会」を下記の日程で開催いたします。

・平成27年11月25日(水)

第1部 合同講演会 19:00～20:00 荏原病院2階 第1・第2会議室

第2部 懇親会 20:00～21:00 荏原病院1階レストラン

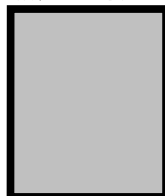
## 人事異動

採用	10月1日	緩和ケア内科 部長	まつぼろ たつひろ 松原 龍弘	消化器内科 医員	ふじわら ゆうし 藤原 悠史	糖尿病内分泌内科 医員	こしば まさかず 小蒔 正和
		整形外科 医員	ふじた まさかつ 藤田 将勝	脳神経外科 医員	やまかわ こうた 山川 功太	消化器内科 公社医員	みつい ゆうた 三井 佑太
	11月1日	感染症内科 医員	あいのだ ゆうすけ 相野田 祐介				
退職	9月30日	消化器内科 医員	やの ゆういちろう 矢野 雄一郎	糖尿病内分泌内科 医員	てらさき みちしげ 寺崎 道重	整形外科 医員	つづい きだあき 筒井 完明
		脳神経外科 医長	なかむら よしのり 中村 精紀	神経内科 公社医員	おおうち たかひろ 大内 崇弘		

# 医師のご紹介

## 【緩和ケア内科】 部長 緩和ケア専従医 荏原病院の緩和ケア専従医です。これから、宜しくお願いします

部長  
緩和ケア専従医



まつばら たつひろ  
松原 龍弘

本年10月にJCHOさいたま北部医療センターから、当院内科部長として就任いたしました松原です。

私は、東邦大学大森病院で呼吸器内科を専門に約20年過ごした後、当時新築された川崎社会保険病院の緩和ケア病棟専従医・病棟部長として、約13年に亘りその運営に全力を注ぎました。その時には地域の住民向けの公開講座や認定看護師養成のための講義や実習の指導にも携わりました。このたびその時の実績を評価して頂き、荏原病院から内科部長・緩和ケア担当医として声を掛けてもらい、10月1日に就任しました。

今回、私が緩和ケア専従医として就任したことで、荏原病院は緩和ケア診療加算の施設要件を満たすこととなりましたので、今まで頑張ってきた緩和ケアチームの活動をさらに活性化していきたいと思っています。また、日本緩和医療学会の認定研修施設としての要件も満たすこととなりますので、今後は緩和ケア専門医の育成にも力を入れていきたいと考えています。

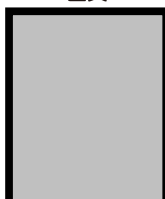
近日中にも緩和ケアの専門外来を立ち上げ、院外や在宅診療を受けているがん終末期患者さんにも関わっていきたくと思っています。緩和ケアはがんと診断された時から関わっていくというのが最近の考えですので、連携医の先生方から何でも相談して頂ければ、緩和ケア専従医として迅速に動き、お役に立たせて頂きます。

緩和ケア病棟開設につきましては、荏原病院の新たな診療機能として入院によるケアを希望する患者だけでなく、在宅で診療中のがん患者さんのご要望にも適切に対応できるように、病院の近い将来計画の中で新たな病診連携の形を模索していきたいと考えております。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

## 【消化器内科】

医員



ふじわら ゆうし  
藤原 悠史

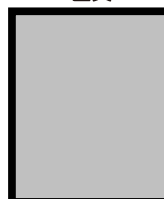
2013年9月から当院で勤務させて頂いている内科の藤原悠史と申します。本年10月より常勤として勤務することになりました。

消化器内科一般を専門としており、外来・病棟診療に加え上下部内視鏡検査・腹部超音波検査を担当しております。患者さんに苦痛のない検査を心がけており、経鼻からの上部消化管内視鏡検査や、鎮静・鎮痛剤を使用した内視鏡検査も状況に応じて行っております。また、内視鏡治療も担当しておりますので、当院までご紹介いただきましたら幸いです。

今後ともよろしくお願いたします。

## 【脳神経外科】

医員



やまかわ こうた  
山川 功太

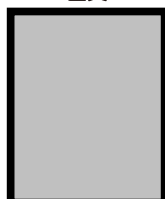
10月より当院脳神経外科で常勤として勤務することになりました。

私は2009年大学卒業より研修医、専修医を経て立場は変われど約7年間ずっと当院に在籍しております。長期間当院で働き、学ばせていただいたことを活かし、今後も地域医療に貢献したいと考えております。今後は高齢化社会の波が一段と押し寄せてくると思いますが、可能な限り患者さん1人1人に合った医療を提供したいと考えております。

今後ともよろしくお願いたします。

## 【糖尿病内分泌内科】

医員

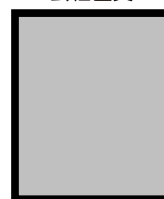


こしば まさかず  
小漣 正和

10月より当院内科に着任いたしました小漣正和と申します。私は糖尿病・内分泌領域を専門としております。2013年の厚労省の調査によると日本人における糖尿病の有病率は男性で16.2%、女性で9.2%と非常にポピュラーな病気です。近年各メディアでしきりに取り上げられるようになり、一般の方々にも糖尿病の認知は進んでおりますが、正しい知識の普及という点ではあまり進んでいないように思えます。当院では医師に限らず、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士など様々な職種で連携しつつ患者さんによりよい医療を提供できるのが強みであります。糖尿病教室や糖尿病講習会といった一般の方々への糖尿病に対する知識の普及活動を行っておりますので、是非とも参加をお勧め頂ければ幸いです。また、クリニックにおいて糖尿病の治療に難渋している方がいらっしやいましたら是非とも当院にご紹介いただければ幸甚に存じます。今後ともよろしくお願いたします。

## 【消化器内科】

公社医員



みつい ゆうた  
三井 佑太

10月より保健医療公社荏原病院消化器内科に着任となりました三井佑太と申します。これまでは昭和大学病院内科学部門消化器内科に属し、消化器疾患一般、一般内科について診療を行って参りました。当院では消化器外来・入院病棟を担当し、上部消化管内視鏡・下部消化管内視鏡・ERCP・EMR・ESDなどの検査や治療にも携わっております。今までの経験を活かし、地域にお住いの方や診療所の先生方のお役に立てたらと思います。内視鏡のご依頼や、消化管疾患、肝胆膵疾患などで困りの際にはぜひ御紹介頂ければ幸いです。よろしくお願致します。

平成27年度

## 8 医師会合同研修会・懇親会 (10/15) のご報告

荏原病院  
久保田院長

10月15日木曜日、秋晴れに恵まれたこの日、『8 医師会合同研修会・懇親会』を開催させていただきました。

本会は、地域の先生方との相互の知識・技術の向上を図るため、また、意見・情報交換をとおして医療連携を促進するために毎年開催させていただいております。



研修会では当院の久保田院長の開会の挨拶の後、内科奥田健太郎医長より、「COPDにおけるプライマリケア」というテーマで、COPDの診断や治療について講演をさせていただきました。先生方には熱心にお聞きいただきまして大変ありがとうございました。

研修会終了後、病院のレストランにて懇親会を開催させていただきました。連携医の先生方32名のご参加をいただき、当院職員も33人が参加させていただきました。

田園調布医師会の中原会長のご挨拶と乾杯のご発声の後、ご出席いただきました、各医師会の会長先生にご挨拶を賜りまして、和やかに懇談が始まりました。

レストランのシェフが腕を振った料理をお召し上がりいただきながら、所属・職種を超えた交流が行われました。

また、懇親会の中では当院診療科の医師のご紹介をさせていただきました。



田園調布医師会 中原会長

多くのご参加  
有難うございました。

普段は診療情報提供書などの書面や電話で先生方とご連絡・情報交換をさせていただくことが多いですが、このような研修会・懇親会等をとおして、今まで以上に顔の見える連携を進めていく所存です。

次回も皆様のご参加を心よりお待ちしております。

誠にありがとうございました。(荏原病院 地域連携係長 津吹洋輔)

地域連携室長 若山副院長